

Tokeisou

とけい草

vol.101
2020.2.14

地域医療支援病院
病院機能評価認定病院
日本医療機能評価機構



特集

入退院支援センターの活動

入退院支援センター 主任 坂本 育穂

入退院支援センターが開設され、約2年が経過しました。これまで看護師のみで入退院支援を行っておりましたが、2020年1月より、医師・薬剤師・歯科衛生士等の職種も加わり、患者さま・ご家族さまの不安や様々な思いに寄り添いながら、安全に治療が受けられ、また安心して入院生活が送れるよう院内や地域の専門職種と連携し支援を行っています。

主な活動として、入院支援では入院が決定した患者さまに対して、入院生活や検査・治療に関するオリエンテーションを実施しています。更に、病気の経過やこれまでの日常生活の様子をお伺いし、入院生活や退院後の生活に不安がある場合は退院支援看護師等へ介入を依頼しています。また、在宅で介護サービスを受けられている患者さまには、入院決定時より担当ケアマネジャー等と連携を図っています。退院支援では、看護師と医療ソーシャルワーカーが2人1組で各病棟を担当し、退院後の生活や療養に関する患者さま・ご家族さまのご意向を確認しながら、介護サービス等の相談や地域支援者と連携を密に行い、退院後の生活を見据えた支援を行っています。



入退院支援を行っていく中で、患者さま・ご家族さまからは「入院前にわからないことが確認できてよかったです。」「退院後の生活が不安だったけど、退院前に相談できてよかったです。」といったお言葉を頂いています。今後はこれまで以上に医療チーム一丸となって入院生活や退院に関する支援を行ってまいりますので、いつでもご遠慮なくご相談下さい。



社会医療法人 愛仁会

明石医療センター

〒674-0063 明石市大久保町八木743-33
TEL 078-936-1101 (代) <https://www.amc1.jp/>

病院のモットー 「患者さまに信頼される医療」

病院の理念

私たちは、患者さまを中心に、その期待に応える医療を行います。
私たちは、地域との連携を密にして、社会に貢献します。
私たちは、常に自己研鑽に励み、医療の質を高めます。

「ダヴィンチ」を導入します！

心臓血管外科

心臓血管低侵襲治療センター長
岡本 一真

明石医療センターでは小切開による内視鏡下心臓手術を積極的に適用し、この手術の全国有数の拠点として、患者さまに優しい低侵襲心臓治療を提供してきました。2020年はこれに加えて手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いた心臓手術を開始します。僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術が対象となります。この手術は最新技術ではあります、平成30年度診療報酬改定で健康保険の適応となりましたので患者さまの金銭的負担は従来の心臓手術と殆ど同じです。ただし、低侵襲心臓手術の実績のある病院かつ十分な経験のある外科医にしか施行が認められないため、明石医療センターは現時点では兵庫県で唯一、関西でも大阪府の4施設に次ぐ5番目の施行施設となる予定です。一般的な胸骨正中切開による心臓手術と異なり、数cmの小さい傷で手術が可能です。また術後1週間前後で自宅退院が可能です。まだ現役で仕事が忙しい、家族の介護で時間が取れない、高齢で手術に耐えられる自信がないといった患者さまには、特に手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いた低侵襲手術が有効です。僧帽弁の病気と言われたら、一度外来（心臓血管外科・金曜日）を受診して手術の必要性など何でもご相談ください。

外科

外科 副院長
豊川 晃弘

手術支援ロボット「ダヴィンチ」ってご存じですか？

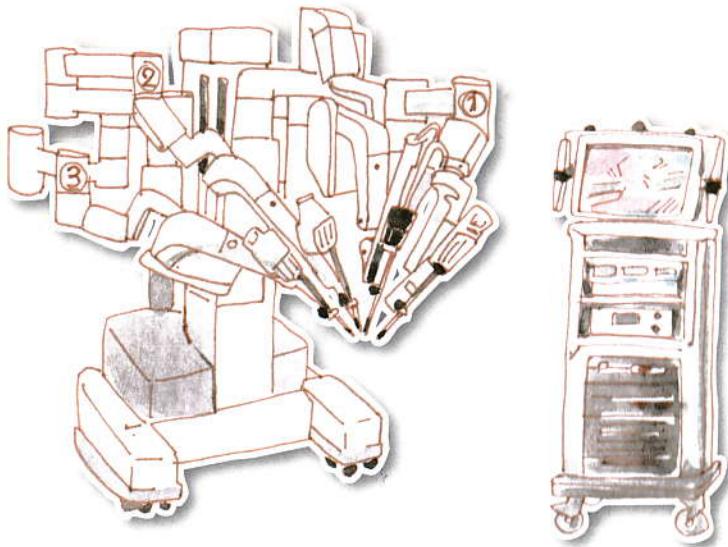
明石医療センターは、2020年より手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入します。

「ダヴィンチ」は内視鏡を使う「腹腔鏡手術」を支援する、内視鏡下手術支援ロボットで、米軍の医療技術が民間に移転されたのを受け、1999年に誕生しました。3本の手術用アームと1本のカメラ用アームを操作しながら、手術室に置いたコックピットに座った医師が患部を切除したり、縫合したりします。外科医が3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがコンピュータを通してロボットに忠実に伝わり、手術器具が連動して手術を行います。腹腔鏡手術にロボット機能を合わせたことで、今まで不可能とされていた角度からの視野や、拡大した視野の下で操作を行え、人間の手以上の緻密さを持つ手術器具により繊細な動きが可能となります。そのため、従来の手術と比較して、低侵襲性（体への負担が少ない）、確実性、機能性が飛躍的に向上すると言われています。従来は泌尿器科領域のみが保険適応でしたが、2018年に対象が大きく拡大され、前立腺がん、腎がんに加えて、新たに胃癌や食道癌、肺癌、直腸癌、子宮体がん、心臓病（心臓弁膜症）手術など、12の術式で保険の適用が認められました。外科では、まずは直腸癌からダヴィンチ手術を導入する予定です。ダヴィンチ手術ではより肛門が残せる・排尿障害・性機能障害が減らせると言われています。当院は、今後も体にやさしい低侵襲手術（内視鏡手術・ロボット手術）を積極的に行って行きます。



2020年3月より

手術支援ロボット



産婦人科

産婦人科 副院長
宮原 義也

欧米を中心に日常診療の一つとなっている手術支援用ロボット（ダ・ヴィンチ Xi, da Vinci Xi）による「体に優しい内視鏡手術」を当院産婦人科でも行う準備が始まりました。これにより、今まで以上に患者さまに優しい最先端の医療を提供することができます。当科では従来から腹腔鏡手術を数多く行っています。この腹腔鏡手術に手術支援用ロボット（ダ・ヴィンチ）を追加することで、ロボットの技術と機能を組み合わせた高い精度の手術を提供できます。

対象疾患：子宮の良性腫瘍（子宮筋腫、子宮腺筋症など）

ロボット手術（ダ・ヴィンチ）の特長

・術後の回復が早い

創部が開腹手術に比べてとても小さいため、術後の回復が早くなります。

・術後の痛みが少ない

創部が開腹手術に比べてとても小さいため、術後の疼痛が少ないです。

・美容面に優れている

創部が開腹手術に比べてとても小さいため、傷跡が小さくなります。

・手術中の出血量が少ない

術者が高解像度 3D モニターを使用し、ロボットアームの自由度が優れているため、高い精度の手術を提供できるため出血量が少なく、手術後の回復が早くなります。

呼吸器外科

呼吸器外科 主任部長
田内 俊輔

近年、外科領域における手術方法に大きな変革が訪れています。従来から行われていた大きく皮膚を切開して病変部を直接見ながら行う手術に代わり、小さな創から内視鏡カメラを使用しモニター画面を見て行う内視鏡外科手術が積極的に行われています。その中でもロボット支援手術は、今までの内視鏡下手術の利点をさらに向上させうる、次世代の医療革新の一端を担った分野です。手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）を用いた手術では、術者は精細な 3D モニターと、人の手が入らないような狭いスペースで手よりも自由度が高く、精密な動きが可能となるロボットアームを動かして手術操作を行います。その結果、これまでの手術に比べて出血量の減少や、安全性の向上、入院期間の短縮といった患者さまへの負担の軽減が期待されます。平成 30 年度より、ダ・ヴィンチを用いた内視鏡手術の保険適用対象に肺がん手術などが新しく追加されました。当院呼吸器外科でもダ・ヴィンチを使用した手術を今年度より順次開始予定です。これからも外科の中心である「手術」に関して負担や不安を少しでも和らげるような治療を提供できるように努力いたしますので、よろしくお願ひいたします。





【診療科目】小児科、アレルギー科

【診療時間】午前 9:00~12:00

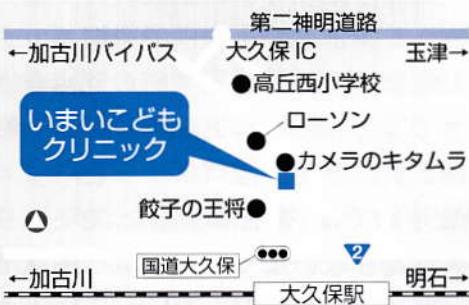
午後 15:30~18:30

▲予防接種、乳児検診は14:00~15:30(TEL予約制)

【休診日】木曜午後・土曜午後・
日曜祝日

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	●	●	●	●	●	●	×
午 後	●	●	●	×	●	×	×
予防接種	×	▲	▲	×	▲	×	×

(週2回)



いまいこどもクリニック
TEL 078-934-6667
FAX 078-934-6668
住所 〒674-0051
兵庫県明石市大久保町大塙
1514-3-101
駐車場：あり

当院は大久保町北部に位置し、地元のこどもたちとご家族の方々に愛されるクリニックを目指して、日々努力を続けております。私は大学卒業以来、さまざまな病院に勤務し、小児科専門医として経験を積んだ後、平成20年に当地に開業致しました。地域の診療所として、当院が患者さまにとって受診しやすい場所であり、かつプライマリ・ケア医として、小児科を総合的に判断することが重要な仕事と考えております。そのため、重症もしくは専門的な診療が必要とされた場合、地域の二次病院へ紹介させていただくことがあります。とりわけ明石医療センターの小児科の先生方にはお世話になっており、大変感謝しております。また他科の疾患と判断した場合も紹介させていただいており、この場を借りてお礼申し上げます。さらに予防接種や健診事業も当院の大切

当院の特徴と専門分野

な診療のひとつとなつておらず、明石市で医療に貢献したいと思っております。我が国はすでに少子化が進み、小児の患者数も減っております。将来を担う大切なこどもたちの健康を守るために、責任は重大を感じております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



明石医療センターからの お知らせ

まちすこやか広場

日時 2020年2月18日(火)14:00~15:30

場所 明石医師会館 3階

内容 ①咳喘息とはなにか?

②過敏性腸症候群について

編集後記

まだまだ寒い日が続いているのですが、少しづつ春の気配を感じるようになってきました。

体調管理に気をつけて、春の訪れを待ちましょう♪



守屋

患者さまの権利章典

明石医療センターは「患者さまに信頼される医療」を実現するために、以下のこと努めます。

患者さまに良質で安全な医療を提供できるよう、最善を尽くします。

患者さまが納得できるようわかりやすい説明を心がけ、患者さまの自己決定権を尊重します。

患者さまのプライバシーを守り、安心できる療養環境を提供します。